

武蔵村山市議会議員 あまめいし要一郎

## 腐敗 STOP 通信 2022 年 秋

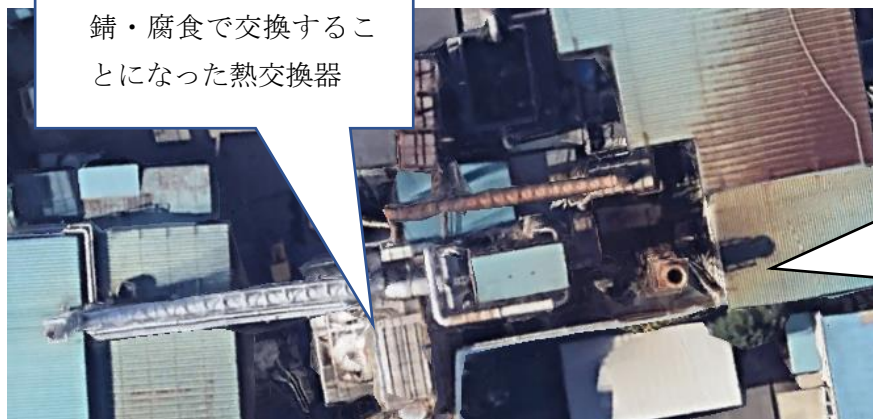
天目石要一郎後援会 208-0013 武蔵村山市大南 4-21-31 エステート大南公園 3-503

電話・FAX042-564-2550 メール amame1968@yahoo.co.jp



栄村が一泊 5000 円の補助をしていたので、「行ってみよう！」と思ったら…。

「数日前に一杯になりました」とのこと。残念でしたが、車中泊の日帰り苗場山登山になりました。初めてでしたが、日帰りでちょうど良かったです。



錆・腐食で交換することになった熱交換器

煙突の周辺の屋根が錆で、真っ茶色になっています。

比留間運送伊奈平工場の航空写真（グーグルアースより）

## 一向に改善しない「ばい煙被害！」、ただちに土壌調査を！

ダイエー横の比留間運送伊奈平工場から長年「ばい煙被害」を受けている方から、「改修工事で被害が無くなるのを期待しましたが、一向に改善されません。何を改修したのでしょうか？」と相談を受けました。東京都多摩環境事務所に工事関連文書を情報公開請求したら、様々な問題が見えてきました。

### 工事の理由は「腐食等により修繕困難のため」

今回の工事では排ガス冷却塔の本体熱交換器の入替工事を行っていました。工事の理由には「腐食等により修繕困難なため」と書かれていました。解体工事完了報告書からも配管内部が錆びている状況が見て取れました。また、航空写真からも、排気塔周辺の屋根が錆で真っ茶色になっている事が一目瞭然です。にもかかわらず、近隣の錆汁被害について、市は「原因ははっきりしない」という主張をしています。今まで、多くの健康被害が寄せられているのに…。原因究明と改善をはかるべきです。

おかしな事に、被害を訴え続けている方は、長年仕事をしてきた大手損害保険会社の代理店資格をはく奪されてしまいました。以前、被害者の方がこの損害保険会社を使って調査すると、「ばい煙被害」の調査結果が当該企業や市役所にまで情報漏洩しました。また、その調査結果自体が素人目にも「おかしい！」と分かる噴飯ものの報告書でした。

### 「市民の健康」と「業者の経営」大切なのはどっち？

自動車事故の保険金と違って、公害被害の賠償となると、多くの被害者への補償や、汚染された土地の改良など、桁違いの賠償金になります。とても手に負えないので、あらゆる手を使って、被害者の方たちを泣き寝入りさせているとしか思えません。今議会での市の答弁も、「市民の健康も業者の経営もどちらも大切！土壌汚染調査をする気はない！」というものでした。加えて東京都も「武蔵村山の土壌汚染調査をする気はない！」と比留間運送の巨大産廃工場建設計画を懸念する檜原村の方たちに回答しています。20 年来の「ばい煙被害」です。行政も損害保険会社も「土壌汚染調査」をしたら大問題が発覚することを恐れているのではないのでしょうか？ 「安心安全のまちづくり」の標語がむなしく響きます。